

荒井天鶴

—孤高の書とその美学

2018年10月5日(金)～11月18日(日)

白と黒との修羅場こそ吾がい
のち
されば命を削りて止まん

(右作品の言葉)



自宅書齋にて(撮影:藤井梵)

トーク「荒井天鶴のこと」

日時：10月14日(日)13:00～13:50

講師：荒井彭仙(徳島書芸院会長・荒井天鶴長男の妻)
富永正志(当館館長)

作品解説・書論解説

日時：10月14日(日)14:00～14:50

講師：荒井彭仙、隅田英二(当館専門職員)

展示解説Ⅰ・Ⅱ

Ⅰ 日時：10月28日(日)11:00～11:30

講師：荒井彭仙

Ⅱ 日時：11月7日(水)11:00～11:30

講師：隅田英二

※ トーク/作品解説・書論解説の申し込み方法

ハガキ、FAX、メールのいずれかに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、「荒井天鶴展トークなど希望」と明記の上、当館までお送りください。

当館1階受付でも申し込みます。

※ 展示解説の申し込み

申し込みは不要ですが、観覧券が必要です。



荒井天鶴書「自作の言葉」

○主催 徳島県立文学書道館 ○第20回徳島県民文化祭共催事業
○後援 徳島県教育委員会・徳島新聞社・四国放送 ○開館時間 9:30～17:00 ○休館日 月曜日(ただし10月8日(体育の日)は開館し翌9日に休館します) ○観覧料 一般510円(400円) 高校・大学生350円(280円) 小・中学生250円(200円) ()内は20人以上の団体料金。小・中・高校生は土・日・祝日・秋休み期間中は無料です。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額です。常設展もご覧いただけます。

徳島県立文学書道館

〒770-0807 徳島市中前川町2丁目22-1

TEL 088-625-7485 FAX 088-625-7540

E-mail kotonoha@bungakushodo.jp

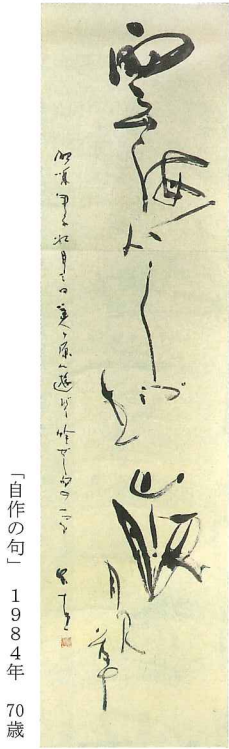
URL <http://www.bungakushodo.jp>



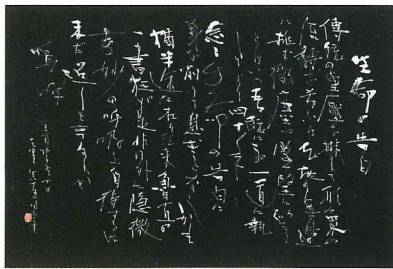


戦後、徳島の書壇をリードした書家、荒井天鶴(1914~2007年)。復員して間もない1948(昭和23)年、県内初の書道結社「徳島書道院」(のち徳島書芸院)を創設し、月刊書道競書誌「彫琢」を創刊、全国に先駆けて近代詩文書を提唱し、徳島に根付かせた書家でありました。また文才豊かな天鶴は、文学と書の一体化を唱え、自作の俳句や言葉を揮毫しています。さらに特筆すべきは、数多くの「書論」を残し、透徹した美学によって書の深奥を明解に説いていることです。

書家であり文筆家、理論家でもあった天鶴。没後10年を経たいま、その書と書論を展覧し、高邁な理想を掲げた孤高の書家・荒井天鶴を回顧します。



「自作の句」 1984年 70歳



「生命の告白」 1969年 55歳



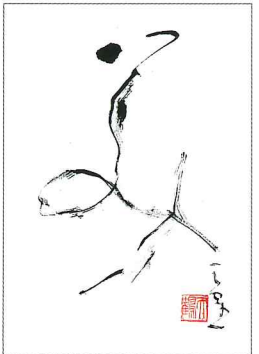
「自作の言葉」 1992年 78歳



「陸游詩二句」 1965年 51歳



「彫琢」誌課題 1968年 53歳



「美」 1986年 72歳

天鶴の美学

— 著書と門人への言葉より

- ・ 良い作品は良い土壌からのみ生まれる。勉強とは、その土壌作りになんか入れることである。
- ・ 書を学ぶということは、書法を学ぶということであり、書の形を真似ることではない。
- ・ 作者が一番力を入れたところが目障りになる。
- ・ 書は、本来作るものでなく書くものである。
- ・ 自分の持っているものを捨てなさい。そうすれば自分の表現ができる。
- ・ 書けるより書の理が判る人になりなさい。
- ・ 形よりも運筆。書の良否は運筆にかかっている。
- ・ 個人的なものは、大抵素人や目のない連中は嫌うものである。
- ・ もともと書と文学の一体化を目指している私にとって、書は私の思想抱懐を表現する一手段に過ぎません。
- ・ 「有閑人だ」「道楽者だ」と言われて怒るような者があれば、まだともに書を語ることが出来ない。

お知らせ

書道特別展「巨匠の書—きらめく独創」

戦後の巨匠たちの代表作や傑作を一堂に展示します。

2019年2月15日(金)~3月30日(土)

I期 2月15日(金)~3月10日(日)

II期 2月13日(水)~3月30日(土)

講演会「巨匠たちの素顔」

2月17日(日)10:30~12:00

講師 西嶋慎一(書道文化研究家)

展示解説

3月3日(日)11:00~11:50

3月24日(日)11:00~11:50

講師 当館職員



交通アクセス (JR徳島駅から)

徒歩 約15分

JR徳島駅西側のポッポ街を抜け右折します。踏切と助任川を渡り、3つめの信号を交差点を右折し約300m。徳島中学校東隣。

バス

〔徳島市営バス〕7番乗り場「川内循環線(右回り)」に乗りし「吉野本町2丁目」下車、徒歩約5分。
〔徳島バス〕2番乗り場「前川経由」に乗りし「吉野本町2丁目」下車、徒歩約5分。

タクシー・自動車 約5分

国道192号線、藍揚町交差点を北進、助任川を渡り4つめの信号を右折し約300m。

当館北川に駐車場があります(43台・大型バス2台)。